



## 第84回定期地方本部大会

# JRの安全・公共交通を守ろう

## 組織拡大運動に取り組んでいこう

国労岡山地方本部は、9月10日に岡山市勤労者福祉センターにおいて、第84回定期地方本部大会を開催し、一年間の闘いの総括を行い、JRの安全確保、労働条件改善、組織強化・拡大、23春闘、ローカル線廃止反対、平和を守る闘い等この一年間の具体的方針を確立した。そして、組織の強化・拡大に向けて奮闘することを誓い合った。



第84回地方本部大会は、三宅副委員長の司会ではじまり、代議員18名中16名の出席で大会が成立し、議長には亀高代議員（福山地区）

副議長に小川智代議員（岡山連合）が選出された。天野地本委員長のあいさつで始まり、来賓あいさつでは、県労会議西崎議長が①組織拡大②生協労組の取り組み③地域との共闘④政治問題等が話された。そして、西日本本部植田委員長は①政治問題②組織拡大③労働協約改定闘争④年末手当獲得闘争⑤労働条件改善



等の情勢が話された。議題に入り一年間の経過報告を三宅副委員長が報告し、組織検討委員会答申、22年度運動方針（案）を青山書記長が提案した。方針案の討論は、6名の代議員が発言し、①組織拡大②年末手当獲得闘争③労働条件改善④ローカル線・列車減便問題⑤中国統括本部問題等の発言があった。書記長集約では①労働条件改善②23春闘③組織強化・拡大④平和を守る闘い等を

### コロナ感染問題

日常生活に不安とストレスに侵されている。「命を守る」そのためには、医療提供体制強化などが最優先であり、具体的な方策が急務である。

### 安全・公共交通を守る



### 天野委員長あいさつ

部問題等の発言があった。書記長集約では①労働条件改善②23春闘③組織強化・拡大④平和を守る闘い等を

### メッセージ

JAL不当解雇撤回闘争団・自治労連・医労連・高教組・自治労岡山市現業・共産党・社民党・新社会党・大塚愛県議会議員・鬼木のぞみ岡山市議会議員・アイ女性会議・中国労働金庫・交運共済・国労家族会・国労退職者の会・広島地本・近畿地本・米子地本・北陸地本・高崎地本・千葉地本

集約とし、採択された。そして、決算・予算の提案がされ承認された。役員改選では無投票当選

### 課題

「コロナ減収」でローカル線廃止を視野に入れた動きが活発化している。宣伝行動・集会・団体交渉などで食い止める事は困難ですが声を上げ、主張していく事が大切である。

### 組織強化・拡大

「動きなくして拡大なし」であり、全国には組合員が存在し、国労運動を継承し次世代にその運動と組織を残していくために懸命に奮闘している。少数であっても創意工夫した存在感がある運動を職場から作り上げ

### 憲法問題

参議院議員選挙の結果から、岸田首相は改憲原案づくりの議論を加速させる姿勢を示し、「戦争できる国づくり」を推し進めようとしている。私たちは、戦争への道を拒否し、共同行動を強化し、運動を進めていく。

今後においても、国労運動の歴史を大切にしながら、地方本部運動を一步でも半歩でも前に進めていく決意です。

### 新役員紹介

執行委員長	天野伸行	備前保線区和気管理室
副執行委員長	三宅明	瀬戸駅
書記長	青山准三	福山保線区福山管理室
執行委員	片岡有宏	備中高梁駅
執行委員	小林靖浩	備前保線区和気管理室
執行委員	勝田哲也	岡山運転区
会計監査委員	西原浩	倉敷保線区総社管理室
会計監査委員	岡本岩夫	西日本電気テック

を確認し、その後、「大会宣言」が採択された。最後に天野新委員長の団結ガンバローを行った。